

# メモリーキーパー 取扱説明書

必ずご使用前に以下をよく読み、本紙を保管してください。

## はじめに

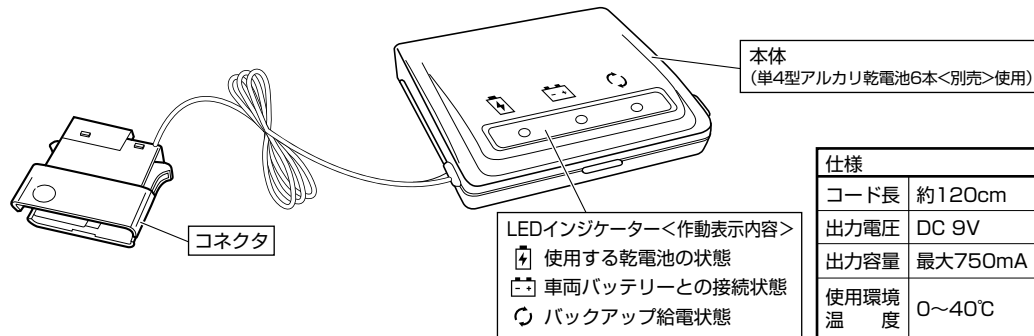
本製品は、2006年(H18年)1月以降に日本国内で初度登録されたOBDIIコネクタ(故障診断コネクタ)を装備した四輪車専用です。

- 本製品はメルセデスベンツ車には使用できません。
- 本製品は12V車専用です。
- 本製品は二輪車では使用できません。
- 本製品の使用には新品の単4型アルカリ乾電池(1.5V)が6本必要です。別途、ご用意ください。  
※充電式電池(1.2V)は使用できません。
- 本製品の使用中に万が一、車両の設定・メモリーが消失した場合、当社では責任を負いかねます。
- バッテリー交換作業中に車両の消費電流が本製品から出力できる750mAを上回るとメモリーが消失します。
- 本製品を使用してバッテリーを交換するときは、車両の電流消費を抑えるため、全てのドアを閉じる必要があります(座席下やラゲッジルームなど車内にバッテリーが設置されている車両の場合、メモリーが消失するおそれがあります)。
- 駐車監視録画機能付きのドライブレコーダーなど、エンジン停止中も電流を消費する機器を装着している場合は、配線を外すなど、それらの機器が動作しないようにしてください。
- 個人がバッテリー交換することを禁止している車種があります。バッテリー交換の可否については車両販売店に確認してください。
- 本製品を使用してバッテリーを交換するときは、30分以内に作業を完了させてください。

## 特長

- バッテリー交換時に本製品がバッテリーの代わりに給電を行うことで、車両に装備された時計やナビ・オーディオなどのメモリー消失を防ぎます。
- 車両との接続は車内のOBDIIコネクタ(故障診断コネクタ)を利用。バッテリー脱着作業を妨げることなく、簡単・確実に使用できます。
- 本製品の作動状態が確認できる3つのLEDインジケーターを装備。安心してバッテリー交換作業を行うことができます。

## 製品構成



## ⚠ 注意 必ずお読みください。

- 本製品を分解や改造、直接配線しないこと。
- コネクタを取り外す時は、絶対にコードを引っ張らないでください。破損するおそれがあります。
- 保管の際は、直射日光のあたる場所や高温になる場所には置かないこと。
- 本製品は防水仕様ではありません。車外での使用、取り付けはしないでください。
- 本製品はバッテリー交換作業専用です。バッテリー交換作業以外の整備や修理、バッテリーへの充電などには使用しないでください。

## 事前準備・使用方法

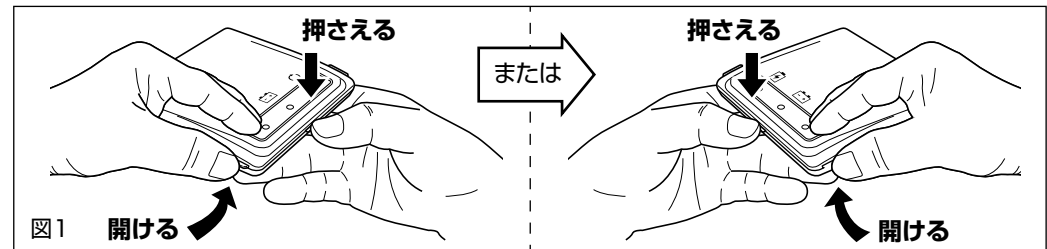
- バッテリー交換作業を行う前に、必ず車両の取扱説明書の関連項目をご確認ください。
- エンジン・電源OFF後もACC状態が継続する車両(例:日産エクストレイル・キックス・サクラ・セレナ・デイズ・ノート・ルークス、三菱eKシリーズ・デリカミニなど)については、車両の取扱説明書を確認のうえ、ACC状態が停止されるまでは本製品を使用しないでください。
- 本製品を使用してバッテリーを交換するときは、室内ランプ類のスイッチを「OFF」の状態にして点灯しないようにしてください。また、カーテシランプなど「OFF」にできないランプについては、ドアを閉めるなど点灯しないようにしてください。
- 本製品を使用してバッテリーを交換するときは、絶対にキーを挿したり、エンジン(パワー)スイッチを押さないでください。また、車両のドアを開けたり、キーレスエントリーやスマートキー(電子キー)を操作しないでください。車両の消費電流が本製品の出力電流を上回り、メモリーが消失するおそれがあります。
- 本製品を使用してバッテリーを交換するときは、車両側の電流消費を抑えるため、スマートキー(電子キー)は車両から離れた場所に移動させてください。金属製の缶など電波を遮断できる容器に入れることを推奨します。
- 駐車監視録画機能付きのドライブレコーダーなど、エンジン停止中も電流を消費する機器を装着している場合は、配線を外すなど、それらの機器が動作しないようにしてください。
- 交換する車両のバッテリーが完全に放電していると、既にメモリーが消失している場合があります。
- アイドリングストップシステム装着車の場合、バッテリー交換後に車両のバッテリー電流積算値などをリセットしないと、車種によりアイドリングストップシステムが正常に作動しなくなることがあります。リセット方法については車両販売店にお問い合わせください。

### 1. バッテリー交換作業前の準備

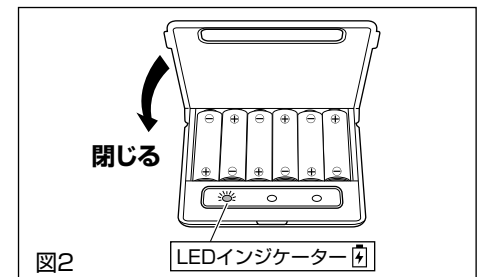
- 1-1. 車両のエンジン・電源をOFFにします。キーシリンダー装備車の場合はキーを抜きます。スマートキー(電子キー)装備車の場合は、スマートキー(電子キー)を車両から離れた場所に移動させてください。
- 1-2. ボンネットを開けるなど、車両のバッテリー交換作業ができるように準備してください。

### 2. 乾電池の取り付けと動作確認

- ⚠ 必ず「3.車両との接続」の前に、乾電池の取り付けと動作確認を行ってください。動作確認前にコネクタを接続すると、車両に給電されず、メモリーが消失するおそれがあります。
- 2-1. 本体前側の突起を下向きに押さえながら、左または右の突起を持ち上げ、フタを開けます(図1)。




- 2-2. 本体内部の表示に従い、新品の単4型アルカリ乾電池(1.5V)を6本取り付け、LEDインジケーターが点灯することを確認して、フタを閉じます(図2)。



- ⚠ LEDインジケーターが点灯しない場合、以下の表を参考に対処してください。それでも点灯しない場合は、本製品の使用中止し、お買い上げの販売店、またはカーメイトWebサイトの「お客様サポート」よりお問い合わせください。

考えられる要因	処置方法
乾電池の向きが正しくない	本体内部の表示で⊕ ⊖の向きを確認し、乾電池を入れ直してください。
乾電池の容量が不足している	新しいアルカリ乾電池6本に交換してください。
乾電池の端子や本体内の接点が汚れている	乾電池の端子や本体内の接点の表面を拭いてください。また、乾電池を入れた後、乾電池を2~3回転させてください。
乾電池の⊕端子寸法のバラつきにより接触不良がおきている	別ブランドの新しいアルカリ乾電池6本に交換してください。

### 3. 車両との接続

3-1. LEDインジケータ-が点灯していることを確認し、本製品のコネクタを車両のOBDIIコネクタ(故障診断コネクタ)へ接続します(図3、図4)。

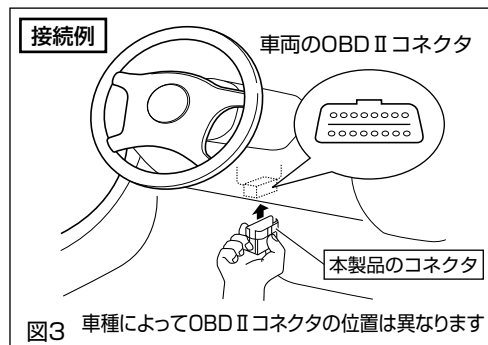


図3 車種によってOBD II コネクタの位置は異なります

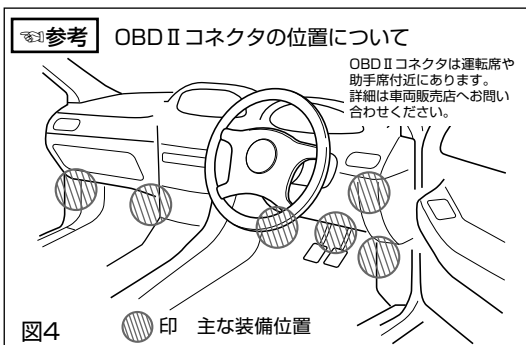





図4

3-2. LEDインジケータ-とが点灯することを確認します(図5)。

コネクタの接続が不適切な場合はLEDインジケータ-が点灯しません。図10を参照し、一旦コネクタを取り外してから、改めて接続し直してください。

※コネクタの再接続後もLEDインジケータ-が点灯しない、またはLEDインジケータ-が点灯する場合は、バッテリー電圧が著しく低い状況のため、既にメモリーが消失しているおそれがあります。本製品を使用したバッテリー交換作業を中止してください。

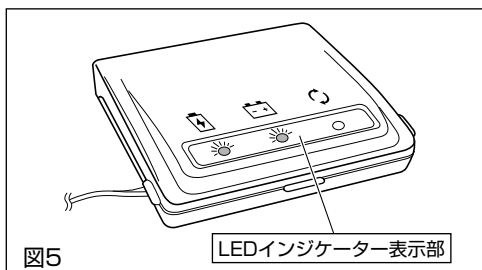


図5

3-3. ダッシュボード上など、バッテリー交換作業中に目視できる場所へ本体を置きます(図6)。

⚠ 車両の電流消費を抑えるため、施錠せずに全てのドアを閉じ、約3分以上経過後にバッテリー交換作業を行ってください。

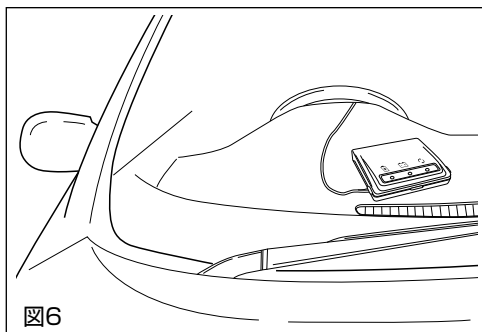


図6

### 4. バッテリー交換作業

●本製品を使用してバッテリーを交換するときは、30分以内に作業を完了させてください。

●バッテリー交換作業中は車両のドアを開けたり、キーレスエントリーやスマートキーを操作しないでください。

※バッテリー交換方法の詳細については、バッテリーの取扱説明書などで確認してください。

4-1. バッテリーの⊖側ケーブル端子を外します(図7)。

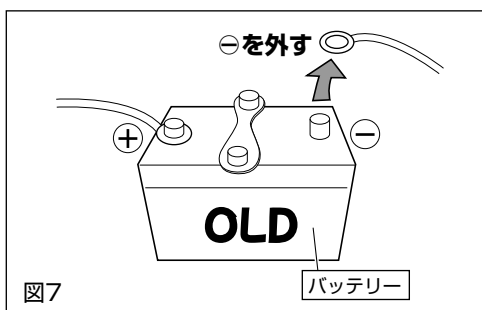






図7

4-2. LEDインジケータ-が消灯し、LEDインジケータ-とが点灯することを確認します(図8)。  
バッテリーの代わりに本製品から車両に電流が供給されることで、車両の各種メモリー消失を防ぎます。

※バッテリーの⊕側ケーブル端子を外してから、LEDインジケータ-が点灯するまでに時間差が生じる場合があります。

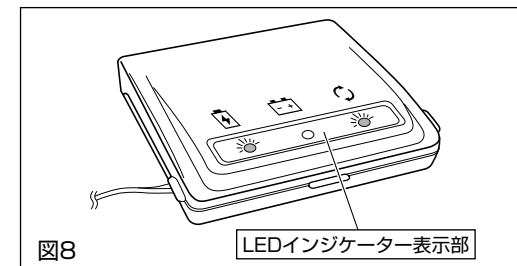


図8

4-3. バッテリーの⊕側ケーブル端子を外します(図9-①)。バッテリー取付金具を外し、バッテリーを載せ替えます(図9-②)。新しいバッテリーを取付金具で固定し、⊕→⊖の順番でケーブル端子を取り付けます(図9-③、図9-④)。

※⊕側ケーブル端子が車両のボディなど金属部に接触しないように注意してください。

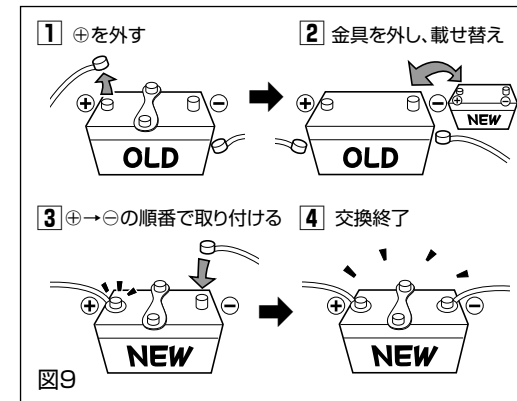




図9

4-4. LEDインジケータ-とが点灯することを確認します(図5)。

### 5. バッテリー交換作業後

5-1. 本製品のコネクタを車両のOBDIIコネクタ(故障診断コネクタ)から取り外します(図10)。

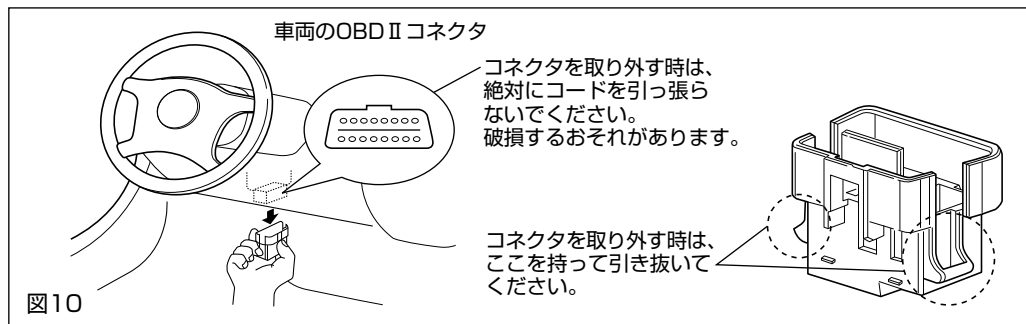



図10

5-2. LEDインジケータ-のみが点灯します。

本製品は必ず乾電池を取り外した状態で保管してください。

※続けて別の車両のバッテリー交換作業を行う場合は、必ず全ての電池を新しいアルカリ乾電池に交換してください。